

5 算数・数学科経営の質を高める

<実践例1> 学力向上をめざし基礎基本を定着させるために学校全体で取り組んでいる事例
(白石市立福岡小学校)

1 学力向上対策「のびーるプリント」

1 算数少人数担当等でプリントを作成

- ・教科書から学力調査の問題の類似問題を探し、プリントを作成。類似問題があるページに付箋を貼っておくことで、必要な時にすぐ開くことができる。
- ・学力調査及び単元ライブラリーと類似問題にすることで問題の形式に慣れさせる。

2 各教室でプリントに取り組む。

- ・朝の活動や放課後に問題を解き、すぐに答え合わせをする。

☆ポイント☆

- ・10分くらいで解けるプリントにする。
- ・間違えた問題は必ずやり直しをさせる。

2 個別指導が必要な児童に対する放課後補充学習「学力のびーるランド」

1 個別指導が必要な児童を担当から聞き、各学年の人数を把握する。

2 放課後補充学習「学力のびーるランド」を設定。

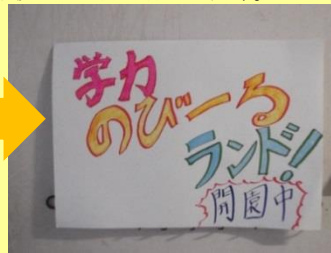
- ・保護者の了承を得て、放課後、少人数教室にて算数の補充学習を行う。内容はプリントやテストの間違い直し、ドリル学習。
- ・学期末や長期休業前の1週間で実施。担任と算数少人数担当等が指導。その他、2年生は火曜日の放課後、3年生は金曜日の放課後に可能な限り指導。

27年度12月実施時の人数

1年生	0人	4年生	2人
2年生	6人	5年生	9人
3年生	4人	6年生	3人

☆ポイント1☆

学年毎に、曜日、時間帯をずらすことで少人数指導が可能になる。



☆ポイント2☆

少人数教室を「学力のびーるランド」に名前を変え、意欲付けを行う。

3 全校児童に周知する。

- ・「学力のびーるランド」が始まる合図として、校内放送で音楽を流す。
- ・「学力のびーるランド」のキャラクターを作成。

「学力のびーるランド」の時、教室に掲示する。



「のびーるくん」



「のびえるちゃん」

周知のため、広報委員会と連携してぬりえ大会を開催し、キャラクターの浸透を図る。